



2017年10月15日  
第615号

1部10円(組合員は組合費を含む)  
郵便振替00960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合  
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)

発行人 大橋 裕子

連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

# Jアラートガイドライン 過剰に恐怖を煽るJアラートに要注意!

大阪府教育庁から、各学校および市町村教委に出された「Jアラートによるミサイル発射情報に対するガイドライン」について、組合の見解(抜粋)を示します。全文はHPでご確認ください。

2017年9月15日、大阪府教育庁は「Jアラートによるミサイル発射情報に対するガイドライン」を府内の各学校および市町村教委にお知らせした。このガイドラインは、2017年9月8日付け文科省からの事務連絡「北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について」をふまえ、策定したものであることを明らかにした。

ガイドラインの中味は、まずミサイル発射情報が発信された場合の避難誘導についてごく簡単に対応が示されている。例えば、屋外であれば校舎内や体育館に誘導、建物がなければ物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守るなど、内閣官房国民保護ポータルサイトが示す通りである。竹槍

でB29を墜落させるほどに滑稽な指示である。また、通過・落下状況によって、臨時休業を行うのか行わないのかについてもごく簡単に示されている。ガイドラインによると大阪府域に落下した場合を除き、原則は臨時休業は行わないとしている。また万が一、大阪府域に落下した場合の対応については大阪府教育庁から別途指示が出されるとしている。

2017年8月29日早朝、朝鮮民主主義人民共和国(以下、共和国)の西岸から日本の東北地方に向けてミサイルが発射されたことJアラートは告げ、その後、あらゆるテレビ番組が特別放送へと切り替えられた。Jアラート発動から10数分後、ミサイルは日本の遥か上空を超えて落下したにも関わらずに緊張は強いられた。そして、9月15日に再びミサイル発射とともにJアラートが発動され、大阪府教育庁はガイドラインを策定したのである。

ガイドラインは政府がいう

ところの「事態の深刻さ」と比べれば、全く非現実的な対応を示したものに過ぎず恐怖を煽るだけのものである。それゆえか、多くの学校でガイドラインは、取り上げられることもなくやり過ごされている。しかしながら今後、無意味で滑稽な訓練を強いられることが危惧される。韓国・朝鮮籍をはじめ多様な文化的背景を持つ児童・生徒が学ぶ学校で、まず第一に考えなければならないことは、これらを理由にした差別、嫌がらせへの毅然とした対応を取ることである。対話を試みることもせず、トランプ米大統領に追随し、「必要なのは対話ではない。圧力だ」などと、まるで開戦前夜であるかのように「国民」を脅かす前に、政府は憲法の平和主義・国際協調主義に基づいた対話による外交努力をすべきである。

組合は、教育機関を媒介として人々に共和国への敵視を刷り込み、国際紛争の解決に武力を行使することに疑問を

感じないようにさせ、朝鮮民族全体に対するヘイトスピーチ・ヘイトクライムを助長しかねない、このような「ガイドライン」が実行されないよう、現場で監視し、今後声を上げていきたい。

教育合同執行部

## 当面の日程



10月21日

(土)14時~  
エルおおさか  
2Fエルシアター  
「2017戦争あかん! 基地いらん! 関西のつどい」

報告:山城博治さん(沖縄平和運動センター議長)、斉藤貴男さん(ジャーナリスト)

11月6日(月)18時半 エルおおさか708

ロックアクション講演会「あの日、あの夜、東京で何が起こっていたのか。関東大震災朝鮮人虐殺」講師:西崎雅夫(社団法人「ほうせんか」)

10月21日(土)に予定されていたダイバーシティパレードは延期になりました。

# 祝 レインボーフェスタ! 2017 ~違ったままで一緒に生きよう!~

10月7日(土)、扇町公園で「レインボーフェスタ! 2017 関西レインボーパレード」が開催され、組合員も多数参加しました。

レインボーフェスタのテーマソング『Live Free』の作者が、歌を創った想いをフェスタのパンフレットの中に書いていました。少し長くなりますが、ここに引用します。

人は自由があって初めて幸せになれる  
「人はみんな同じ」  
すべての人は平等に自由に生きられる  
でも偏見を前にして自由を我慢して生きている人たちがいる  
「人はみんな違う」  
だから個人を尊重する必要がある  
偏見や我慢とは無縁の自由で



多様な豊かな社会こそが当たり前になるべき

性の領域だけではなく、労働や生活、教育等の領域でも、このような想いを抱いて生きている人たちがきっと多いはず。労働組合がレインボーフェスタに参加する意義はこ

こにあります。労働者が苦しい時代は、偏見や我慢の中で不自由を強いられている時代でもあります。強い権力に縋りつこうとし、弱者の排除によって優越に浸ろうとする愚かな選択をする少数の人たちが、職場でさまざまなハラス

メントを行うような労働現場の中で、もっとも大切な精神はこの歌の想いです。

パレードに参加した人たちはみんな、不自由に抵抗し、多様性を主張し、解放を願い、さまざまな想いを込めて行進していました。パレードの傍らで私が手を振ると、みんなにこっと笑い、手を振って返してくれました。パレードの行進者たちの晴れやかな笑顔は忘れられません。

パレードの様子を撮った動画をYouTubeに掲載しています。

https://www.youtube.com/watch?v=n1e1piboqCA

勝山貴可(高校支部)

# 大阪全労協 学習会 もり・かけ問題から見えてきた教育問題を考える!



10月13日、エルおおさかで大阪全労協主催による学習会、森友・「道徳」・大学～今、学校教育に問われているもの～が開かれ、組合から報告を行いました。

森友問題は、説明責任から逃げた安倍首相による今回の衆議院解散の大きな原因です。改めて、国有地払い下げの問題、国家主義教育の問題が指摘されました。大阪府教育庁

私学課は文科省の回答そのままに森友学園が行っていた教育勅語の朗唱について、「道徳心を養う」ことを目的に「活用してもらうことに問題はない」としています。2018年度から「特別な教科」として始まる「道徳」の問題が浮きぼりになります。

続いて、中学の現場から2019年度に控えた「道徳」教科化の問題について報告されました。学習指導要領では「平和・人権・共生」のテーマが抜けており、中学校で週1時間、3年間で105時間、「ありがたいお話」を行うとされています。答えや結論を導かないとする授業が、まずはぼんやりとした、周囲から

浮き上がらない空気を生み出し、2020年の東京オリンピックを機に一気に変質するのではないかと指摘されました。

最後に加計学園問題で注目されることとなった、大学教育の実態が現場から報告されました。少子化が進むなか、大学閉学が増加しています。学生を「顧客」と捉え、「満足度向上」が目的となってい

ることは、学生の成長を前提とする教育とは相容れないものです。また、文科省の圧力は強くなり、今や授業のシラバスは予習・復習の内容や時間までを明記するに至っています。大学教育が変質するなか、大学で働く教員たちの労働者としての意識改革も必要となってきています。

突然の衆院選挙や沖縄高江での米軍ヘリ炎上事件などへの緊急の取り組みのため、参加者は多くはありませんでしたが、教育問題はすべての人が何らかの形で経験しているものであり、参加者それぞれが発言するなど、中味の濃い学習会となりました。

酒井さとえ(書記長)



## 文化おちこち (186) ウガンダ訪問記 その2



ウガンダの子どもたちの前で 太極拳を披露する筆者

### 【ウガンダの教育事情】

ウガンダの首都カンパラでJICAのメンバーの集まるドミトリーに日本食の差し入れをして、そこからさらにタクシーで1時間走り、ようやく目的地ムピジ小学校に着きました。ちょうど、年3回の長期休暇に入ったところで、小学校には子どもがあまりいませんでしたが、私たちの姿を見つくとあちこちからやってきて、物珍しそうにみていましたが、中には荷物を運んでくれる子どももいました。

### 【1クラス120人 ウガンダの小学校!】

この小学校は幼稚園から7年生までいて、在校生は約千人くらいいます。1クラスは

120人位の大規模教室です。大半の子どもたちは裸足です。学校には水道、ガスはなく水は雨水を蓄えています。電気もきてはいるのですが、時々停電になるので、太陽光発電で補っています。給食はほぼ毎日同じで、ポショというトウモロコシを砕いて練ったものを食べています。これにお茶がついているだけです。日本の給食で残食が多いのに比べると考えさせられました。

### 【授業はすべて英語で】

ウガンダはかつてイギリスの植民地だったので、授業はすべて英語です。通学生と寄宿生があり、朝は8時半から夕方5時まで授業があり、寄宿生は夜9時頃まで熱心に勉強しています。というのも7年生になると卒業試験(=PLE)がありその成績によって行く学校が決まるからです。この後中学、高校と上がっていくのです。

教師は中学校を出ると教員養成学校に入るみたいです。教師の給料、地位はあまり高くなく大半の先生がアルバイトをしているようです。 昌

## 全労協定期大会開催



10月1～2日にかけて、全労協第29回定期全国大会が熱海で開催され、全国から全労協傘下の組合が結集し、活発な議論が行われました。

臨時国会冒頭での開催、そして総選挙、民進党解党という、現在の混沌とした政治状況を踏まえ、金澤議長をはじめ来賓者からあいさつが行われました。

その後、2016年度の運動の総括と今年

度の活動方針が示されました。

参加者からは、数々の争議報告も行われました。郵政ユニオンからは、9月14日に東京地裁で勝利判決が出され

た労契法20条裁判の報告が行われました。勝利の報告に、会場全体が晴れ晴れしい気持ちになりました。

暴走する安倍政権にSTOPをかけるべく、労働者・市民の生活と権利、人権、反戦、平和を闘う運動をより発展させていくことが、全体で確認されました。大橋裕子(執行委員長)



郵政20条裁判原告からの報告



「希望の党」の英語表記は "The Party of Hope" というらしいところで、HOPEと言えは日本たばこ産業(JT)が製

造している言わずと知れたタバコの銘柄 "The Party of HOPE" なら「HOPE(たばこ)の党」「希望の党」はその政策で「受動喫煙ゼロ」を謳っているが!?